



第96回定時株主総会の概略

1. 開催日時 2023年6月28日(水) 午前10時01分
2. 場所 朝日放送グループホールディングス株式会社テレビAスタジオ
3. 所要時間 57分
4. 出席株主数 123名
5. 事前質問状 0通
6. 質問株主数 8名
7. 質問 9問(事前にWEBで寄せられた質問3つを含む)
8. 議案について 2つの議案が全て賛成多数で承認可決されました。
第1号議案「剰余金の処分の件」
第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)9名選任の件」

<主な質問及びその回答要旨>

Q1. 常勤の女性役員の登用について

A1. ダイバーシティの観点から、女性役員の登用は重要な課題と認識しており、今回の2号議案が承認可決されると女性取締役は4名に増員され、東証の数値目標を達成する。他方で、常勤の女性取締役はまだ選任されていないが、女性の幹部社員が育ってきていることから、近い将来、常勤の女性役員の登用もあると考えている。

Q2. 「PBR1倍割れ」について

A2. PBRの水準については、社内でも議論の対象であり、これまでも経営者の意識を高めるための勉強会を行っている。短期的な利益の向上と中長期的な成長の期待値のバランスが重要で、中長期での投資も重視しながら、利益を上げて株主様への還元に努めつつ、中長期の成長戦略も実行し、PBR向上に努める。

Q3. ラジオ事業について(ポッドキャストやYouTubeを活用した発信強化、喋り手育成強化)

A3. 音声コンテンツのデジタル配信分野への取り組み強化は今年度の重点目標と考えており、ポッドキャストやYouTubeへの施策を進めている。次世代を担う喋り手の発掘育成も必要であり、単発番組枠やポッドキャストのオリジナル企画制作等、トライアルを重ねていきたい。

Q4. 放送事業での広告収入の減少と多様な番組制作について

A4. テレビ業界全体として広告収入は厳しい状況にはあるが、当社は主力のスポット広告の在阪でのシェアとしては健闘している。番組内容については画一的にならないよう、「おはよう朝日です」など、従来のベルト番組も含めて新しい形を模索していく。

Q5. 朝日放送テレビ制作番組の他放送エリアでの視聴、番組販売について

A5. 朝日放送テレビ社のローカル番組は、地上波以外に、TVer等の配信プラットフォームでの配信を行っており、全国での視聴が可能な番組もある。これらの配信によって全国での知名度が上がることにより、他放送エリアでの番組販売にもつながっており、引き続き、セールス強化に努めたい。

Q6. 株主懇談会の開催について

A6. 当社では過去に株主懇談会を行っていたが、コロナ禍以降、現在はそういった取り組みを行っていない。出来る限り幅広い株主様への還元を考えると、配当を原則と考えているが、引き続き、放送事業を主とするグループである当社独自の株主優待の形を検討していきたい。

Q7. ジャニーズ事務所報道と番組制作について

A7. 性暴力はあってはならないことを前提として、今後のジャニーズ事務所の対応を慎重に見守りつつ、適正な報道、番組作りを行う。

Q8. 株主懇談会の開催と広くABCの存在を広める施策について

A8. (株主懇談会についてはA6と同様の回答) ABCを広く浸透させるためのIR活動では、昨年も実施したWEB説明会等も有効活用し、当社の魅力を日本だけでなく全世界にアピールしたい。

Q9. 療養中の道上洋三氏を起用したラジオ番組制作について

A9. 道上氏は現在リハビリに励んでおられ、当社としてもそのような番組が制作出来ることを願っている。

なお、第96回定時株主総会における議決権行使結果については、6月29日(木)、EDINETを通じて金融庁に開示する他、当社ホームページにおいても開示しております。

以上